

上野物産株式会社の取組の概要

1. 地域の概要

上野物産株式会社の所在する鹿児島県肝付町は、大隅半島の東南部に位置し、森林面積は 24,654ha であり、そのうち民有林は 8,626ha を占めています。民有林のうち人工林は 62% であり、齢級構造は 6~10 齢級が中心となっています。



2. 取組 1「低コストで頑丈な作業路づくりの取り組み」(平成 18 年度)

①取組の内容

四万十式作業路を採用した高密度路網を開設しました。

②取組の結果

鹿児島県公共造林事業作業路開設費 (2,500 円/m) と比較して 1,631 円/m と 35% 減となりコストを削減することができました。



3. 取組 2「大苗・低密度植栽・無下刈による造林作業の省力化」(平成 19 年度)

①取組の内容

大苗・低密度植栽と無下刈施業を組み合わせ合わせた新しい作業システムと従来のシステムを比較しました。

・新システム

地拵: 枝条筋置、伐根は除去。

植付: スギ 1 年生苗 (60 c m 程度) を 2,700 本/ha 植栽。

下刈: 植栽年度を含め、6 年間実施。

・従来のシステム

地拵: 枝条の多い箇所は枝条筋置、少ない箇所は枝条残置、伐根は除去しない。

植付: スギ 2 年生苗 (80 c m 程度) を 1,500 本/ha 植栽。

下刈: 3 年目に下刈を 1 回実施。



②取組の結果

全ての工程において労働力投資は減少し、総計で従来のシステム 100 人日から新システムでは 58.5 人日と 42% 減少し、生産コストも、総計で従来のシステム 1,789,043 円から、新システムでは 1,078,158 円と 40% 減少し、労働生産性・生産コスト共に向上しました。

4. 取組 3「高効率低コスト作業システム構築事業」(平成 20 年度)

①取組の内容

間伐作業において伐倒から搬出までの工程を連動させた新しい作業システムを試行し、各工程が完全に独立した従来の作業システムと比較しました。

②取組の結果

労働生産性は従来のシステム 3.0m³/人日から新システムでは 7.3m³/人日と 143% 増加し、生産コストについても、8,000 円/m³ から 4,830 円/m³ と 40% 削減することができました。



→詳細版はこちら 1(PDF:2,123KB)、2(PDF:1,823KB)、3(PDF:1,200KB)